

令和6年度県債発行方針

1 基本的な考え方

国内では、金融政策の正常化に向かいつつある中、全年限で金利が上昇し、おおむね平成25年の異次元緩和開始時の水準程度まで回復。

足許では、日本銀行によるマイナス金利政策や長短金利操作（イールドカーブ・コントロール）の解除時期に関心が高まる中、今後の金利変動やそれらを踏まえた投資家の運用ニーズの変化について十分注意する必要がある。

令和6年度は、日銀の金融政策の動向や欧米の中央銀行の動向のほか、中東情勢や長引くウクライナ戦争などの地政学的リスク、11月に実施予定の米大統領選挙等、市場環境の変動要素が想定され、環境変化を踏まえた起債運営が必要となる。

こうしたことを踏まえて、令和6年度においては、①県債の安定的な消化、②資金調達の弾力化、③競争性の確保、④市場の変化への対応、⑤県債への信頼性の向上の5つの基本方針に基づき、県債を発行する。

2 取組の方向性

基本方針	具体的な取組内容
県債の安定的な消化	<ul style="list-style-type: none">○銀行等引受債の定期発行及び発行額の平準化○銀行等引受債シンジケート団による責任引受機能の継続○銀行等引受債において、地元金融機関による安定的な資金調達体制の継続○戦略的 IR 活動により新規投資家確保を促進し、県債引受基盤を強化・拡大
資金調達の弾力化	<ul style="list-style-type: none">○投資家需要を踏まえた発行年限・償還方式の弾力化○グリーンボンドの発行を継続・拡大し、SDGs の取組を推進する本県施策の普及・PR や投資家基盤の拡充を促進○県民債等の発行による県民の投資機会の確保
競争性の確保	<ul style="list-style-type: none">○提案募集・入札による銀行等引受債の発行
市場の変化への対応	<ul style="list-style-type: none">○フレックス枠の活用による市場環境や投資家ニーズの変化を捉えた機動的な調達の実施○市場環境の変化に備えた市場公募債の前倒し発行
県債への信頼性の向上	<ul style="list-style-type: none">○公募債について、引き続き全年限主幹事方式を採用し、投資家との丁寧な対話による資金調達の実施○投資家に訴求する IR 資料を活用した効果的な IR 活動の継続